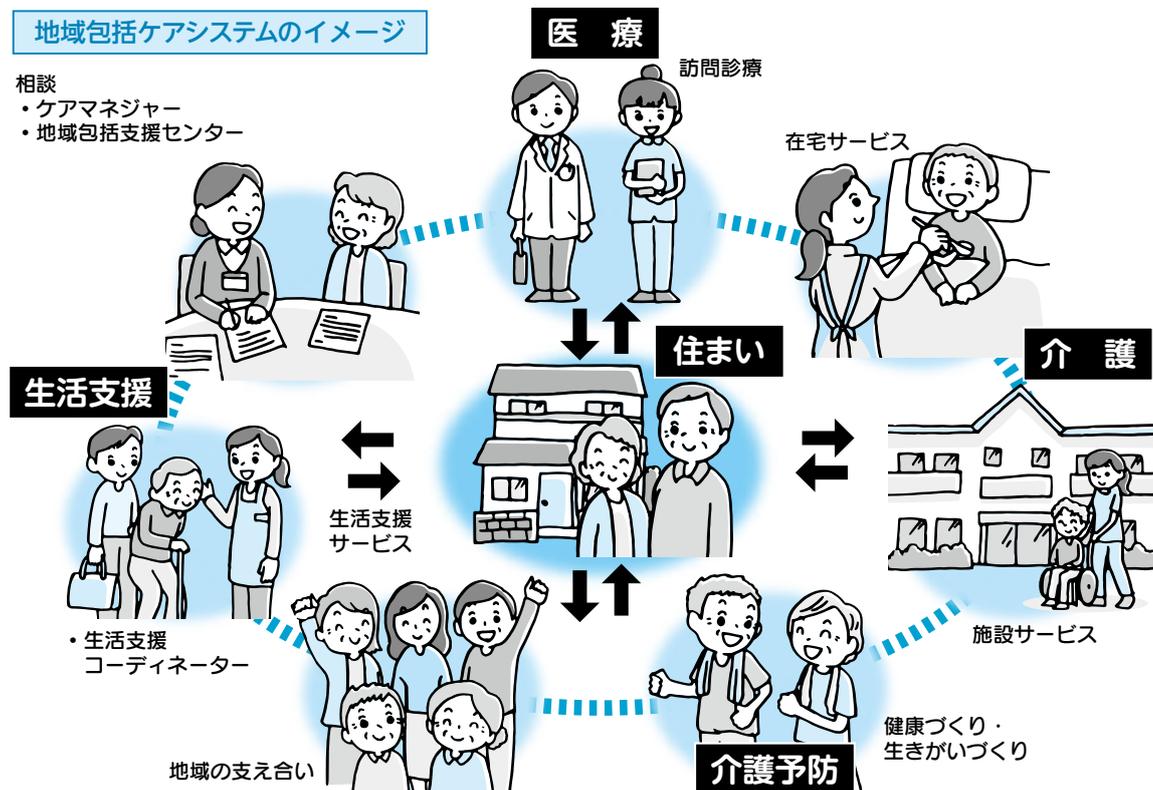


住み慣れた地域で自分らしく暮らす



日本人の平均寿命は諸外国と比べて高く、人生百年時代が到来しようとしています。市では、住まいを中心に、医療・介護・介護予防・生活支援に関するサービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を推進するため、関係機関や地域と連携したさまざまな取り組みを行っています。

本市でも進む高齢化

本市の65歳以上の高齢者人口は3万1,747人で、高齢化率は24.3パーセントとなっています。また、高齢者の14.5パーセントに当たる4,607人が要支援・要介護認定を受けています(9月末時点)。

国や県の平均は下回っているものの、今後、高齢者の割合は上昇することが見込まれています。

地域の取り組みで解決 地域ケア会議

地域包括ケアシステムを構築するためには、医療・介護の関係機関や地域の民生委員・地区社会福祉協議会・住民などの協力が欠かせません。

市では、関係者と一緒に地域の課題を共有し、解決策を話し合う地域ケア会議を行っています。

地域の課題は、一人暮らしの見守りや、高齢者が高齢者を介護する老老介護、コロナ禍における高齢者の居場所づくりなどさまざまです。公的な介護保険サービスだけでは対応が難しいことも多くあります。

これらの課題について、地域の見守りを含めた移動スパーの運行や住民同士で介護予防活動を行う居場所づくりなど、地域が行う取り組みを通じて解決につなげていきます。

高齢者の総合相談窓口 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための総合相談窓口として、地域包括支援センターを市内7カ所に設置しています(5ページ)。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などが連携し、介護保険サービスの導入や生活上の

困り事・悩み事などの相談・支援を行っています。

なお、電話での相談や来所が難しい場合は、職員が自宅などに訪問することもできますので、気軽に相談してください。

施設サービスの充実も

在宅での生活に不自由を感じている高齢者のために、施設サービスの充実を推進しています。今後新たに、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・介護医療院などを整備する予定です。

また、介護施設で働く人材の確保・定着を図るため、介護職員の資格取得のための費用助成や、「介護版なりた手当」の支給を行っています。

※くわしくは介護保険課(☎20・1545)、施設サービスの充実については高齢者福祉課(☎20・1537)へ。

市内の地域包括支援センターの一覧

名称	所在地・連絡先	担当地区
西部南地域包括支援センター	新町1037-63(新町デイサービスセンター玲光苑内) ☎23-7151	成田・中郷地区
西部西地域包括支援センター	公津の杜6-5-16 ☎36-4981	公津地区 (はなのき台を除く)
西部北地域包括支援センター	橋賀台1-16-3(橋賀台ショッピングセンター内) ☎29-5005	ニュータウン地区・ はなのき台
西部北地域包括支援センター (押畑支所)	押畑896-4(特別養護老人ホーム玲光苑内) ☎20-3655	八生・豊住地区
南部地域包括支援センター	本三里塚226-1(介護老人保健施設セントアンナーシングホーム内) ☎35-6081	遠山地区
東部地域包括支援センター	猿山1600(下総地域福祉センター内) ☎80-7007	久住・下総地区
東部地域包括支援センター (大栄支所)	松子413-1(大栄支所内) ☎94-5664	大栄地区



ここにこ会(なりたいいきいき
百歳体操) 代表
おがわ きょうこ
小川 京子さん

幅広い世代が支え合う地域づくり

高齢者から寄せられた「みんなが集まれる居場所が欲しい」という相談がきっかけで、平成27年にラジオ体操を行う活動を始め、そこからなりたいいきいき百歳体操の団体を立ち上げました。参加者は活動日を楽しみにしてくれているようで、体操前のおしゃべりタイムも好評です。このほかにも、地域の中で高齢者が活躍している場はたくさんあって、子ども食堂などの活動では高齢者が手伝ってくれたり、企業が食材を提供してくれたりするなど、支え合いの輪が徐々に広がっています。また、子どもから高齢者まで、幅広い世代間での交流は地域の見守りにもつながっていると思います。

このような取り組みはコミュニケーションがとても重要です。難しく考えず、小さな活動から始めてみてはいかがでしょうか。



成田市高齢者クラブ
連合会 副会長
おおさわ まもる
大澤 守さん

みんなで育む地域の交流

私が高齢者クラブに入った10年ほど前は参加者も少人数でしたが、地域の皆さんに声を掛け、徐々に参加者が増えたことで活動の幅も広がっていきました。現在では、介護予防のためのなりたいいきいき百歳体操をはじめ、地域の施設の清掃、段ボールのリサイクル回収など、さまざまな活動を行っています。また、メンバーが所有している田んぼを貸し出して行う近隣の小学校の田植え・稲刈り・脱穀作業の授業では、高齢者クラブも一緒に参加することで、地域の交流も生まれていることを実感しました。

毎週集まるのは大変な面もありますが、楽しみながら活動を続けています。一人ではできないことも、みんなで協力すればできる。これからもみんなで力を合わせ、地域の取り組みを継続していきたいと思います。